

えがおになれるごはん

東金市立東小学校 二年 横田 理央

「おばあちゃん、今日は何ごはん？」

あたしはおばあちゃんの作ってくれるごはんが大スキです。やさいかにかてなあたしのため^にきせつのやさいをつかっているいろいろなごはんを作ってく^れるからです。

春はたけのごはん。とれたてのたけのごんとお米をすいはんきに入れてスィーツチオソ。すいはんきからいいにおい^がします。ちよっ

とにかいたけのこも、かめばかむほどあまくなるお米のまほう^でとつてもおいしくな^ります。たけのごはんの日は、かぞくみんなが「おかわり」と何回も言うので、おばあちゃんとお母さんはおおいそがしです。でも「おかわり」と言うとおばあちゃんはとてもうれし^そうな^かお^をして^います。

「おばあちゃん、いそがしいのになんでうれし^そうなの？」

と聞くと、

「みんながおかありする。てことは、おいしくできたってことだからね。」
とてれながらおばあちゃんに、みんなで「おいしい。」
と大きなこえでべんじをするのがとてもたのしかったです。

夏は甘くておいしくて、かぞくみんなが元気になるとうもろこしごはん。秋は「新米」で作るくりごはん。ほうせきみたいの一つぶ一つぶがキラキラしていて、なぜかいつもの

お米よりもおいしい気がします。冬はおせきはん。弟とおじいちゃん、お母さんのたん生日があるからです。みんなで

「おめでとう。」
と言って、「おいおいしている時が大好きです。」

春夏秋冬、いつもごはんがかぞくみんなをえがおにしてくれます。わたしも大きくなったらおばあちゃんみたいにかぞくみんなかえがおになれるようなおいしいごはんを心をこめて作りたと思います。